



2018年8月6日

各 位

上場会社名 古河機械金属株式会社
 代表者 代表取締役社長 宮川 尚久
 (コード番号 5715)
 問合せ先責任者 経理部長 三影 晃
 (TEL 03-3212-7021)

2019年3月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年5月10日に公表いたしました2019年3月期の第2四半期累計期間および通期の連結業績予想値を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期第2四半期累計期間(2018年4月1日～2018年9月30日)の連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A) (2018年5月10日発表)	百万円 87,000	百万円 3,200	百万円 2,700	百万円 1,800	円 銭 44.55
今回修正予想(B)	87,000	3,700	3,500	2,300	56.93
増減額(B-A)	0	500	800	500	
増減率(%)	0.0%	15.6%	29.6%	27.8%	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期第2四半期)	80,102	3,943	4,747	2,486	61.54

2. 2019年3月期通期(2018年4月1日～2019年3月31日)の連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2018年5月10日発表)	百万円 169,000	百万円 6,500	百万円 5,600	百万円 3,700	円 銭 91.58
今回修正予想(B)	169,000	7,000	6,100	4,000	99.00
増減額(B-A)	0	500	500	300	
増減率(%)	0.0%	7.7%	8.9%	8.1%	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	167,695	7,820	8,105	4,774	118.16

3. 連結業績予想の修正の理由

業績予想につきましては、前回(2018年5月10日)発表時点の想定との比較において、第2四半期連結累計期間の営業利益は、ロックドリル部門では、主として、北米市場において需要の落込みが予想された排ガス3次規制油圧クローラドリルが引き続き好調であったことに加え、油圧ブレーカの出荷も増加し、増益となる見込みです。ユニック部門では、主として、中国におけるユニッククレーンの出荷が増加し、増益となる見込みです。その結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきまして、上方修正しています。

また、通期の業績につきましては、産業機械部門では、主として、大型プロジェクト案件の工事遅延により減収となる見込みですが、ロックドリル部門およびユニック部門では、第2四半期連結累計期間における修正を主因として増収、増益となる見込みです。その結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、それぞれ上方修正しています。

(注) 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上